



第89回機器・部品メーカー懇談会

支部部品運営委員会では11月25日(金)に大阪・太閤園にて標記の懇談会を開催しました。機器4社、部品1社より各分野における最新の動向についてご講演いただきました。その後活発な質疑応答もあり、有意義な情報交流となりました。

村田委員長ご挨拶

開会にあたり、村田恒夫 委員長((株)村田製作所 社長)より挨拶がありました。「アメリカ大統領選挙はトランプ氏の勝利という結果になりましたが、背景には米国民の“Change”を求める気持ちがあると思います。本日のテーマも、IoT、カーエレ、空調、ロボットと並び、以前の懇談会テーマからは大きく様変わりしました。我々も生き残るために“Change”を求められています。どう変わって行くべきか、活発な議論をお願い致します。」



村田委員長挨拶

家電分野におけるIoTの取り組みについて

シャープ(株)よりご講演いただきました。家電のIoTは、「リモート制御・モニタリング」から「サービス連携」へと進化を遂げましたが、お客様が喜ぶ価値を提供できている、とは言えません。モノの人口知能化「AI×IoT=AIoT」により、家電をさらに人に寄り添う存在に変えて行きたいと考えています。ユーザーの習慣や好みを学

習し、クラウドの人工知能・情報を用いて一人ひとりに合う価値を創出、音声による対話でその価値を伝えることで、お客様に愛着を持っていただければと願っています。RoBoHoN、AQUOS、HELSIO等、「暮らしのパートナー」としてお使いいただける商品を展開している所です。今後は、他社製品を含め、HEMSから住宅設備まで家中のモノが連携し「わが家」流に成長して行く「スマートホーム」の実現に向け、サービスを含めてアライアンスを進めて行きます。将来的には、コンシューマー向けで培ったクラウド関連技術をB2Bにも展開して行きたいと考えています。

カーエレクトロニクスの動向と今後の展開 ～安全運転支援への取り組みについて～

パナソニック(株)よりご講演いただきました。2015年に世界の交通事故死者は125万人、負傷者は2000～5000万と言われていています。日本では、特に高齢者の比率が高まっており、死者の54.6%を65才以上の方が占めました。欧米日で新車評価制度(NCAP: New Car Assessment Program)が導入され、安全の確保に向けた各種法規制の整備も進んでいます。20年のADAS(Advanced Driving Assistant System: 先進運転支援システム)用キーデバイス市場は1兆4千億円規模と予測されますが、この額は12年時点の予測に比べ約4倍も上振れています。同社では、素材、コンポーネントからシステムまで、幅広い知見を結集し、カメラとソナーを組み合わせて対象との距離を高分解能で計測するTOF(Time-of-Flight)カメラ、左右と後方の3つのカメラ映像の統合表示するディスプレイ、V2X(車-車/インフラ/歩行者)通信を活用したインターフェース等の開発を進めています。